

利用者のために

I 農業経営部門別統計の概要

1 作成の目的

我が国農業の主要部門について、その部門ごとの農業構造・経営構造を明らかにするために作成したものである。

2 農業経営部門別統計の種類

農業経営部門別統計では、次の各部門別の条件に該当する農業経営体及び販売農家を抽出し、面積規模別、飼養頭数規模別に各部門の農業構造・経営構造を明らかにするための種々の統計とのクロス集計を行った。

(1) 第1集

水稲部門、畑作部門、小麦部門、大豆部門

(2) 第2集

野菜部門、露地野菜部門、施設野菜部門、果樹部門、花き・花木部門、施設園芸部門

(3) 第3集

酪農部門、肉用牛部門、養豚部門、養鶏部門

3 集計対象と集計方法

(1) 水稲部門

調査期日前1年間に販売目的で水稲を作付けた農業経営体及び販売農家

(2) 畑作部門

普通畑（経営耕地）のある農業経営体及び販売農家

(3) 小麦部門

調査期日前1年間に販売目的で小麦を作付けた農業経営体及び販売農家

(4) 大豆部門

調査期日前1年間に販売目的で大豆を作付けた農業経営体及び販売農家

Ⅱ 統計表の編成

統計表に用いた全国農業地域区分は次のとおりである。

全国農業地域名	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	(北関東、南関東、東山)
北関東	茨城、栃木、群馬
南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川
東山	山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	(山陰、山陽)
山陰	鳥取、島根
山陽	岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	(北九州、南九州)
北九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分
南九州	宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

Ⅲ 利用上の注意

1 利用の仕方

(1) 表中に使用した記号は次のとおりである。

「0」… 表示単位に満たないもの。(例：0.4ha→0ha)

「-」… 調査は行ったが事実のないもの。

(2) 面積積上げ集計はa単位で行っており、統計表章の際にha単位で単位未満を四捨五入しているため、計とその内訳の累計値は必ずしも一致しない場合がある。

2 統計表の表章区分等

(1) 水稻部門の表側分類に用いた稲作販売収入割合は、農産物総販売金額に対する稲作の販売金額割合である。

(2) 畑作部門の表側分類に用いた普通畑割合は、経営耕地総面積に対する普通畑面積割合である。

普通畑面積とは、樹園地を除く畑のうち、牧草専用地及び調査期日前1年間に作付けしなかった畑を除いた畑面積である。

(3) 小麦部門及び大豆部門の表側分類に用いた普通畑割合は、経営耕地総面積に対する普通畑面積割合である。

また、田割合は、経営耕地総面積に対する田面積である。

IV 報告書の刊行一覧

農林業センサスに関する報告書は、次のとおりである。

第1巻 都道府県別統計書（全47冊）

第2巻 農林業経営体調査報告書－総括編－

第3巻 農林業経営体調査報告書－農林業経営体分類編－

第4巻 農林業経営体調査報告書－農業経営部門別編－（全3冊）

〔	第1集	水稻、畑作、小麦、大豆	〕
	第2集	野菜、果樹、花き・花木、施設園芸	
	第3集	酪農、肉用牛、養豚、養鶏	

第5巻 農林業経営体調査報告書－抽出集計編－

第6巻 農業構造動態統計報告書

第7巻 農山村地域調査報告書－都道府県編－

第8巻 農業集落類型別統計報告書

別冊 英文統計書

別巻 総合案内

V 問合せ先

農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課

センサス統計室農林業センサス統計第1班

電話：03-3502-8111 内線3665

直通：03-3502-5648